

【計画の体系】

基本理念

すべての市民が、地域の一員として互いに支えあい、助け合えるまち

基本目標

1 自ら考え、地域社会に参加できるまち

2 認めあい、支えあい、助けあえるまち

3 安全で安心して住み続けられるまち

4 ともに生きる社会を推進する担い手が育つまち

基本施策

適切なサービス提供と自立の促進

広報、情報の受発信と福祉情報の共有

きめ細かな相談支援体制の整備

社会参加と生きがいづくり

地域交流と居場所の充実

地域の見守りと子ども・若者の健やかな成長支援

市民協働と地域課題の共有

権利擁護と福祉・人権教育の推進

必要な人へ届ける支援の充実

地域のニーズに対応したサービス提供の促進

地域の防災・防犯・交通安全体制の推進

居住支援と施設・生活のバリアフリー化

複雑化・複合化する課題への支援体制の充実

地域福祉を推進する人材の育成

福祉意識の啓発・周知の推進

【基本目標Ⅰ】 自ら考え、地域社会に参加できるまち

すべての市民が主体的に社会参加できるような環境を整備するとともに、自立した生活を送るために必要なサービスが整っているまちを目指します。

<主な取り組み項目（基本目標を実現するための事業）>

- 生活困窮者支援
- 様々な媒体、手法での情報発信
- 社会参加や生きがいつくりの活動機会の提供
- 地域包括ケアシステム
- 就業環境整備
- 包括的な相談体制の構築
- 孤独・孤立対策

<評価指標> 基本目標を達成できているか評価するための参考指標

評価指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
地域活動に参加している市民の割合	13.4%	20.0%
市役所や地域に悩みごとや心配ごとを相談できる窓口があることを知っている市民の割合	新規取得	60.0%

【基本目標2】 認めあい、支えあい、助けあえるまち

すべての市民が地域の一員として自己実現でき、地域活動の担い手として生活するため、市民一人ひとりがお互いを認め、受け止め、ともに活動できる機会づくりに取り組みます。

<主な取り組み項目（基本目標を実現するための事業）>

- 地域の居場所・交流の場づくり
- 地域での見守り活動
- こどもの健やかな成長支援
- ヤングケアラーへの支援
- 市民・団体・事業所との協働による地域福祉の充実
- DV・虐待の未然防止・相談窓口の充実
- 性の多様性への理解促進
- 人権尊重の意識啓発
- 支援が必要な人に適切な援助を届ける
取り組み（重層的支援体制整備・子ども家庭センター等）

<評価指標> 基本目標を達成できているか評価するための参考指標

評価指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
居場所があると思う市民の割合	新規取得	60.0%
孤独である、孤立していると感じる市民の割合	6.1%	4.0%

【基本目標3】 安全で安心して住み続けられるまち

バリアフリー等によるハード面での生活環境の整備に加え、地域のつながりや各団体の活動など、ソフト面での配慮も行うことで、全ての市民が住み続けたいと思う、より安心・安全なまちを目指します。

<主な取り組み項目（基本目標を実現するための事業）>

- 居住サポート
- 地域の保育需要に応じた適切な施設整備
- 自主防災組織の強化
- 避難行動要支援者事業
- 防犯対策
- 公共施設や道路等のバリアフリー化
- バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実
- 公共交通政策
- 複雑化・複合化する課題への支援充実

<評価指標> 基本目標を達成できているか評価するための参考指標

評価指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
自主防災組織の組織率	59.8%	63.0%
今後も現在の場所に住み続けたいと思う市民の割合	64.5%	70.0%

【基本目標4】 ともに生きる社会を推進する担い手が育つまち

地域福祉を充実させるため、地域活動を支えるの担い手である関係機関や各団体と連携するとともに、地域福祉に関する理解を広げ、新たな担い手が育つまちを目指します。

＜主な取り組み項目（基本目標を実現するための事業）＞

- ボランティアの育成
- 地域福祉団体の活動拠点支援
- 成年後見制度利用促進
- 地域福祉に関する活動への住民参加促進
- 担い手育成講座・研修

＜評価指標＞ 基本目標を達成できているか評価するための参考指標

評価指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
地域のお祭り参加や公園清掃などの町会活動を支援できる市民の割合	26.7%	37.0%